

被災地と、みんなを結ぶ

2014年4月14日 No.28

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

2015年
9月
までに！

連合第4回ボランティア・プロジェクト開催

～何ができるかは、それまで何をしてきたかだ！～

3月27日～29日、2泊3日の日程で、第4回ボランティア・プロジェクトを開催、42 地方連合会が参加し、災害発生時を想定した実践的な研修を行いました。

このプロジェクトは、大規模災害が発生した時に、スムーズに組織的な初動体制がとれるよう、47 地方連合会独自の要綱・要則や防災マニュアルを作成し、また地元の社会福祉協議会やボランティア団体と日常的な連携体制を図り、万一の時のために備えることをめざし、2012年9月に立ち上げました。3年計画で全7回のプログラムを予定、目標達成時期は2015年9月で、今回はちょうど折り返し地点での開催でした。

万一の時には地方連合会がそれぞれの地域において先頭にたたなければなりません。残り一年半、枠内のD「災害対策について組織確認していない」地方連合会をなくし、A「独自の要綱があり、災害発生時の対応ができる」ことをめざしていきます。

47 地方連合会の現況

- A：独自の要綱があり、行政・他団体との連携が図れているなど災害発生時の対応ができる＝13 組織
- B：要綱はないが、連合内の災害対策本部の立ち上げ、運営を経験している。＝10 組織
- C：要綱は作成済だが、災害対策本部の立ち上げ経験はない。＝14 組織
- D：災害対策について組織確認していない。（ボランティア派遣を除く）＝10 組織

～～研修プログラム（一部抜粋）～～

◆開会あいさつ・趣旨説明

◆災害時に期待される地方連合会の役割／澤野次郎 災害救援ボランティア推進委員会委員長

◆連合山口によるボランティア派遣事例報告／中繁尊範 連合山口副事務局長

【要旨】

集中豪雨による甚大な被害に対し、連合山口は支援要請を受けてからわずか3日間で現地と調整を行い、10日間で延べ1000名を越えるボランティアを派遣した。これは組合員や構成組織の協力はもちろんのこと、現地ボランティアセンターとの速やかな連携で、被災状況やニーズが共有化でき、スムーズに対応できたことによる。苦しい時、困った時に支え合う労働組合の原点や、地域に根ざした顔の見える運動の大切さをあらためて確認した。今後も、自治体や社会福祉協議会など地域の関係団体と日常的な連携を大切にしたい。



◆災害救援ボランティア推進委員会による研修／宮崎賢哉

災害救援ボランティア推進委員会主任

○ボランティア派遣における組織的対応(座学／40分)

緊急災害支援運営要綱等に基づくボランティア派遣における組織的対応の必要性について学習。運営要綱の参考例をもとに、条文のポイントを学ぶ。

○災害時の決断力とリスクコミュニケーション(座学・演習／90分)

災害時に求められる決断のあり方とミスコミュニケーションを防ぐ方法について学習。



★防災「クロスロード」★

その時、あなたならどうする？
Yes or No を選択。大事なものは「なぜそれを選んだのか」を説明しあうこと。

○災害ボランティア派遣と活動の基礎知識(座学・映像視聴／90分)

災害ボランティア活動の基本的理解と安全衛生、災害ボランティアセンターの役割について学習。参考資料が掲載されているホームページや器材を紹介。



宮崎講師

- ・「助けられる側」から「助ける側」へ。
- ・普段できないことは、災害時にもできない。その時、何が出来るかは、それまで何をしてきたかだ。
- ・被災地の現場ではマナーはあっても細かなルールはない。目の前のことにベストをつくす！

○地方連合会における研修モデル・教材の紹介(座学／40分)

各地方連合会で研修を企画・実施する際のモデルやポイント、活用できる教材・プログラムについて紹介。

○災害ボランティア派遣ロールプレイング(実技・演習／150分)

対策本部・災害ボランティアセンター・労働組合の三者に分かれて派遣想定訓練を実施。

ここは仮想
ボランティアセンター

★ロールプレイングのもよう★

対策本部



ボランティア
ニーズと
労働組合の
情報を
マッチング



作戦会議

◆まとめ・閉会あいさつ

～～アンケート結果を一部抜粋～～

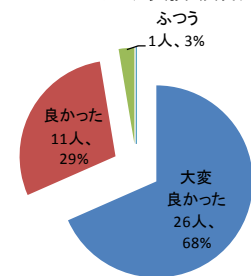
○感想

- ・座学と実技の組合せが大変良かった。実践的な内容がゲーム感覚でできるなど工夫されていて楽しみながら質の高い内容であった。(多数)
- ・同じ内容で地方連合会でも開催したい。

○今後の研修会にのぞむ内容

- ・被災地で開催して欲しい。(多数)
- ・連合山口のような事例報告は大変参考になるので次回以降も聞かせて欲しい。また実際に災害対策本部立ち上げ経験のある組織の苦労話や問題提起が聞きたい。東北3県より体験談を聞きたい。(多数)
- ・今回のようなロールプレイングや実技があると良い。(多数)
- ・研修のステップアップを図って欲しい。
- ・他の地方連合会がNPO、社協、県とどう連携体制をとっているか聞きたい。
- ・ブロック開催への展開も検討して欲しい。

研修(ロールプレイング実技・演習)



以上

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp